

子供の安全対策

- 一人歩きは注意！複数人で行動しましょう
夜間は特に危険です。できるだけ明るい場所を選び、2人以上で行動しましょう。
- 防犯ブザーや防犯笛を持ち歩こう
防犯ブザーや防犯笛を鳴らしたら、不審者が立ち去った事例があります。
- 周囲や後ろに気をつけよう
不審者に後をつけられているかもしれません。
- 「歩きスマホ」はやめよう
スマホや音楽プレーヤーを使用しながら歩いていると、不審者の接近に気づかないおそれがあります。
- 周囲に助け求めよう
危険を感じたときは、すぐ逃げて、助けを呼んでください。
- 逃げる場所を確認しよう
「子ども110番の家」など、いざというときに逃げ込める場所を確認しましょう。



広 報

な
ん
ぶ



3 月 号

南 部 駐 在 所
3 4 - 3 1 4 1
三 戸 警 察 署
2 2 - 1 1 3 5

「ながら見守り」にご協力を！

「ながら見守り」とは、普段の生活や事業活動をしながら、防犯の視点を持って通学路等の見守り活動を行うことです。
地域全体で犯罪の起きにくい環境を目指しましょう。

スピードの出し過ぎに注意しよう

雪解け時期は速度を控えめに！

- 雪解けとともに、歩行者や自転車の通行量が増加するなど交通環境が変化します。
ドライバーにとっては、危険性が高まる時期といえますので、このような時期こそ速度を控えめにすることが大切です。
- スピードを出し過ぎると、視野が狭くなり、標識等の見落としや危険回避への遅れが生じることから、思わぬ事故につながります。
常に路面状況、気温に注意して、安全な速度で交通事故を起こさないようにしましょう。

路面凍結に注意！

- 雪解け水が凍り、見た目には黒くぬれているように見える路面が、実際はブラックアイス（凍結）状態になっていることがあります。



シートベルト・チャイルドシートで命を守ろう

令和5年中、県内の自動車乗車中の交通事故死者15人のうち、シートベルトを着用していなかった方が7人でした。

シートベルト・チャイルドシートを着用していないと、事故発生時に

- 事故の衝撃でダッシュボードや窓ガラスに体をぶつけ、大怪我を負う
- 車内から外に放り出されて全身に大怪我を負う
可能性が高くなります。
シートベルトは確実に着用しましょう。



特殊詐欺の被害をなくそう

◆青森県内の令和6年1月末現在の特殊詐欺発生状況

認知件数	2件	(前年比-2件)
被害金額	403万円	(前年比-21万円)
未然防止件数	6件	(前年比-1件)

1月中に認知した2件は、いずれも架空料金請求詐欺でした。

架空料金請求詐欺とは、身に覚えのない料金を請求するなどして、お金をだまし取る詐欺の手口です。

警察相談専用電話 **＃9110** または **017-735-9110**



青森県警察特殊詐欺被害防止
キャラクター「リキかもくん」